

令和5年シラス曳網調査結果 (第5報)

令和5年7月25日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

7月19日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深27m)

141-10E(水深39m)、141-15E(水深54m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

25.0°C~25.5°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり1~12尾(合計20尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(7月4日、0~4,064尾、合計5,759尾)と比較し、減少しました。

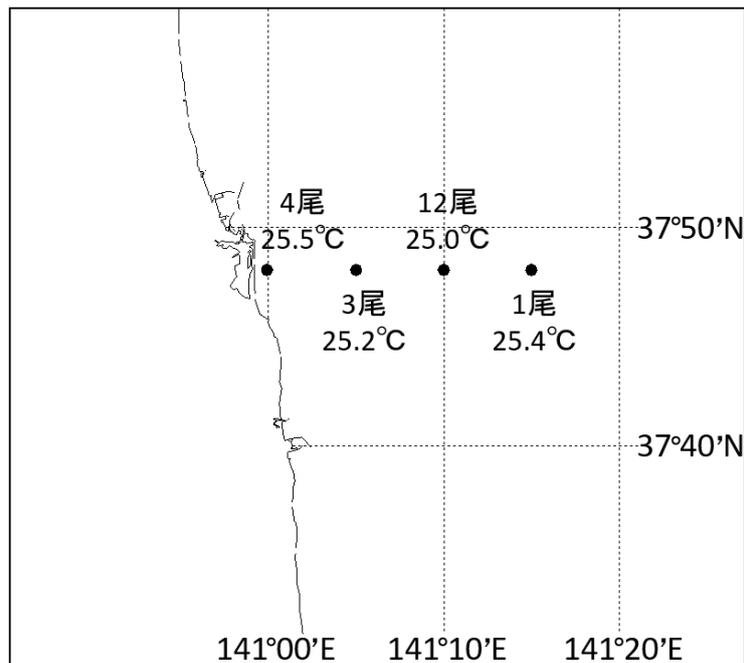


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：5.2～16.6mm

141-00E、141-05E、141-10Eにて10mm前後のシラスが採捕され、141-15Eにて16.6mmのシラスが採捕されました。

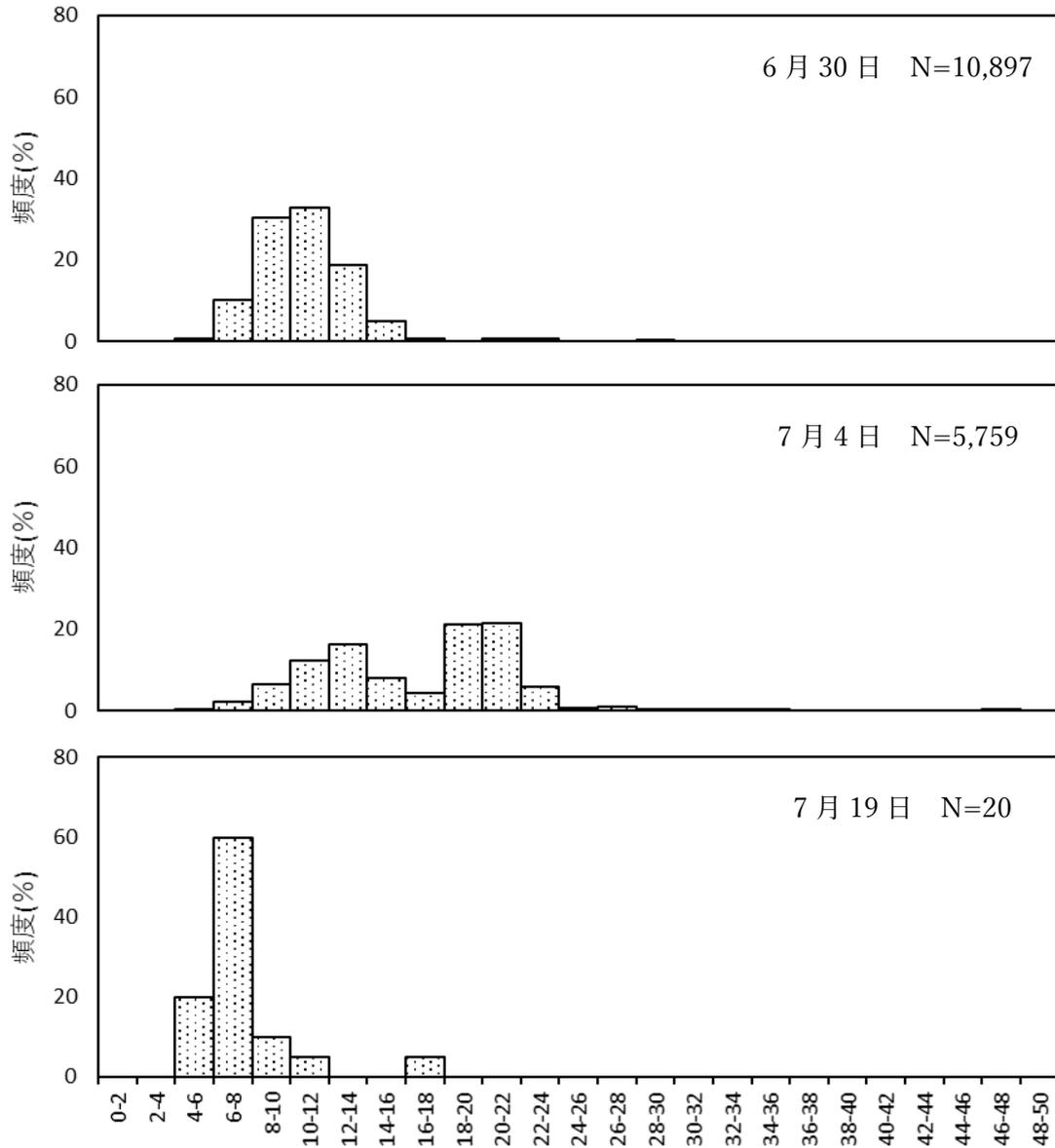


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年7月のシラス採捕数は平成18年以降で5番目に多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

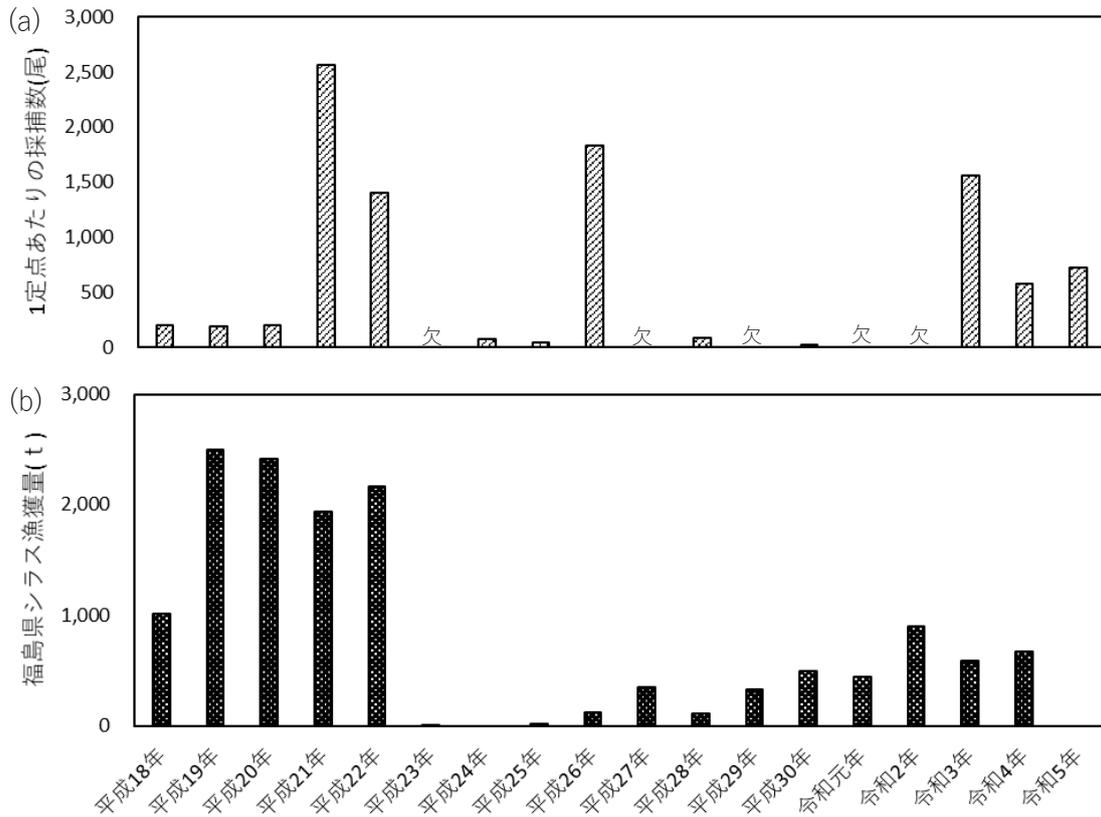


図3 (a)相馬海域における7月の1地点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量